

港まちづくり協議会ニュース

第24号 (2008年9月10日発行)

2008年度の
港まちづくり協議会が
いよいよ始まりました。



新たな絆づくりに向けて！

4月24日に改正された港まちづくり協議会の規約にもとづき、西築地学区連絡協議会、築地口商店街振興組合、ポートオブナゴヤ商店街振興組合に委員の推せんをお願いしました。学区連協からは6月13日に、両商店街からは7月8日にそれぞれ委員の推せんがあり、7月31日に新しいメンバーではじめての協議会の会議を行い、会長・副会長を選びました。

役職	名前	所属
会長	高羽 章	西築地学区連絡協議会推せん
副会長	佐藤 良一	築地口商店街振興組合推せん
	山田 順一	名古屋市港区役所区民生活部長
委員	河村 満輝	西築地学区連絡協議会推せん
	田畠 多津子	"
	伊藤 慶重	"
	松本 一男	"
	牧ヶ野 英生	"
	黒江 武司	ポートオブナゴヤ商店街振興組合推せん
	伊藤 容子	名古屋市総務局企画調整室長
	大脇 豊彦	名古屋市市民経済局主幹(企画・外郭団体)
	榎本 廣保	名古屋市住宅都市局臨海総合整備事務所長
今井 健	名古屋市緑政土木局港土木事務所長	



港まちづくり協議会会長 高羽章さん

港まちづくり協議会会長は、西築地学区連絡協議会会長の高羽さん、副会長は、築地口商店街理事長の佐藤さんと、港区役所区民生活部長の山田さんに決定されました。

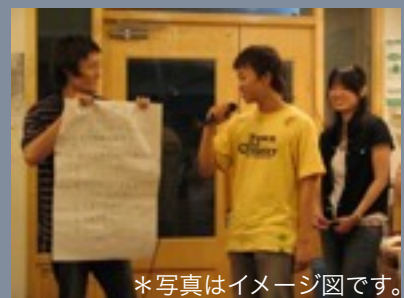
ワークショップとは？

ワークショップとは、住民参加型のまちづくりによく用いられる合意形成の手法です。また、地域に関わるさまざまな立場の人々が自ら参加して、地域の課題を解決するための改善計画を立てたり、実践的共同作業の総称にもなっています。

ちなみに西築地学区の稲荷公園は、住民参加型ワークショップの事例としては、全国でも先駆けの歴史があります。そこで培われたまちづくりの志は、稲荷公園愛護会に今も元気に引き継がれているんですね。



*写真はイメージ図です。



*写真はイメージ図です。

古橋事務次長からひと言！

上記の写真は、私が関わらせていただいたきたまちづくり活動の中のワークショップ風景です。人とまちが、より豊かに育ちゆくためには、お互いの意見や気持ちを深く理解し合う学びの場が必要です。その意味で、まちづくりワークショップには、「学びの場」としての大きな可能性が込められているのです。

みんなで作る 部会ワークショップ！

みなさんと一緒に創り上げる

協議会事業でありたい

私たち港まちづくり協議会では、8月12日の会議において議論された内容に基づき、「部会ワークショップ」を開催することになりました。

部会ワークショップとは、協議会からの依頼を受けて、その事業内容を検討していく住民参加型のワークショップです。部会ワークショップを開催する目的は、協議会の事業プロセスに、より多くの住民の方々の意見を幅広く反映させていくためです。

今、全国で「自分たちのまちは自分たちでつくる」という機運が、大きな高まりを見せています。しかし、同時に、地域社会のみんなが楽しくて、笑顔になれるためには、どうしたらいいのだろうか？そんな疑問の声が、あちらこちらから聞

こえてきます。また、それらの機運と疑問は、西築地学区の中にも見え隠れする課題とも重なります。ワークショップは、そんなまちづくりの課題解決に向けての創造的な試みとも位置付けらるでしょう。

今回の部会ワークショップでは、ワークショップを運営しながら、数々の地域のまちづくり活動を支援してきたプロのファシリテーターさんのサポートがつきます。合意形成のプロフェッショナルを交えた、持続的なまちづくりを事業ベースでおこなっていく試みは、全国のまちづくり活動の中でも先進的な取り組みとして注目を浴びることになるでしょう。

自分たちのまちは
自分たちでつくる

部会ワークショップ メンバー募集!

まちづくり活動を通して

地域への誇りを育む

さっそく、9月には「まちの縁側事業」と「冬のイベント（イルミネーション）」の部会ワークショップを開催して、皆さんと一緒に議論を進めていき
たいと考えています。「まちの縁側」とは、地域の中に世代や立場をこえた交流の機会や居場所づくりを行なっていく取り組みとして、近年

に注目を集める活動コンセプトの1つです。

また、冬のイベントでは、イルミネーションを中心とした事業が

予定されていますが、その内容については、

これから検討していきます。

事業の実現化には、より多くの方の部会ワークショップへの参加が必要になります。

みんなで
参加しよう

部会ワークショップメンバー募集!

まちの縁側事業と冬のイベント（イルミネーションを中心）の事業内容を検討する部会ワークショップのメンバーを募集します。みなさま、是非ご参加下さい。

第1回部会ワークショップ開催予定

2008年9月17日（水） 午後7時～9時

*西築地学区以外の方でも大歓迎です。
ご参加いただける方は、下記にご連絡下さいませ。

港まちづくり協議会 担当：古橋

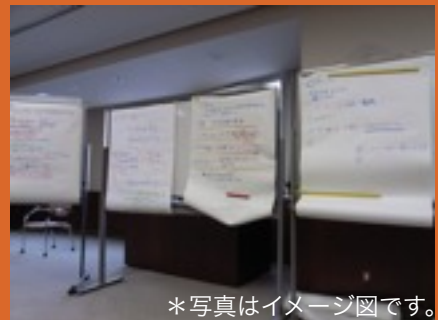
電話：052-654-8911

ファシリテーターとは?

ファシリテーターとは、直訳すれば促進者。ワークショップという学び場においては、参加者の意見を整理したり、認識の一致を確認したりして会議そのものの進行を促し、深いレベルの合意形成を導く役割を担います。ここで重要なことは、学びの場を育てていくのは参加者自身であるということです。ファシリテーターは、そのお手伝いをする人なのです。



*写真はイメージ図です。



*写真はイメージ図です。

古橋事務次長からひと言!

上記の写真は、名古屋都市センター企画のファシリテーターの養成講座に参加したときのものです。

ファシリテーターの在り方は、ワークショップに限らず、時代の新たなリーダーシップのスタイルとしても、企業などの現場でも研究されているようです。

事務局日誌

事務局業務の中の日々のささやきや、つぶやき。

まちづくりとの出会い

私が、まちづくりという言葉に出会ったのは、筋ジストロフィーの障害を抱える友人との出会いがきっかけでした。

学生時代のある日、私は彼から、「障害者が世の中の役に立つためには、何ができるのか？」という相談を真剣な眼差しと共に持ちかけられました。将来への展望も抱けない曖昧な不安の中にいた私にとって、彼の相談は、驚きであると同時に、強く共感させられる問いでありました。

広く世の中の役に立つ人間になれるのかどうかはわからないけれど、せめて自分にとって大切だと思える人や地域の役に立つことができたらいい。そんなことを語り合いながら、私たちにできるこ

とをやってみる1つのきっかけとして取り組んだのが、瀬戸市銀座商店街を中心としたまちづくり活動した。やがてそれは、大学や地域を代表とするプロジェクトへと成長し、関わった多くの市民や学生たちにとっては、その地域が新たな故郷となり、地域は、まさに再生をされたのでありました。

地域が人を育てる

このように、私にとってのまちづくりの原点のようなものを振り返ってみますと、「まちづくりは、人づくり」という言葉の意味をしみじみと感じてしまいます。

地域やコミュニティ、人とひととの関係が人間の豊かさや健やかさにとって、とても重要な役割を果たすことが再認識されて、そ

私にできることは
なんだろう？



うした地域の力の再生が

声高にいわれるようになりまし。しかし、重要だといってみたり、分析してみたりすることよりも、実際に地域や人に関わっていく地道なまちづくり活動を展開していくことが、何にもまして大切なのは明ら。実践あるのみなのです。

私にできることはなんだろう？

まだまだ、新米の私には、たいていお役に立てないのが現状かもしれませんが、「私にできることはなんだろう？」という問いを大切に、築地でがんばっていきましょうと思っています。応援よろしくお願ひします。

事務局次長：古橋

□ 港まちづくり協議会では、ポートピア名古屋設置に伴い競艇を施行する自治体（蒲郡市など）から名古屋市に交付される「環境整備協力費」を用いたまちづくり事業を、住民と行政との協働により検討・実施しています。協議会の委員は、西築地学区連絡協議会・築地口商店街振興組合・ポートオブナゴヤ商店街振興組合からの推薦を頂いた方々と名古屋市の職員で構成されています。

□ 港まちづくり協議会の会議は誰でも傍聴できます。傍聴のルール、会議の開催日や会場など詳しくは下記の協議会事務局までお問い合わせください。

<港まちづくり協議会に関するお問い合わせ先>

港まちづくり協議会事務局

〒455-0037 港区名港一丁目14番23号 コーラルまるさんビル2F

電話：052-654-8911 FAX：052-654-8912

Eメール：minato-machi@view.ocn.ne.jp

★上記の事務局に会議資料を設置し、どなたでも閲覧できるようにしています。

★港まちづくり協議会の情報はインターネットでも見ることができます。

URL <http://www.minato55.jp/>